

II. 海外経済

		2018年12月	2019年1月
世界経済		世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、 <u>中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</u>	世界の景気は、 <u>一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。</u> 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、 <u>中国経済の先行き及びその影響、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>
アメリカ		アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。先行きについては、着実に回復が続くと見込まれる。ただし、通商問題の動向及び影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。	アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。先行きについては、着実に回復が続くと見込まれる。ただし、通商問題の動向及び影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気は持ち直しの動きに足踏みがみられる。先行きについては、 <u>各種政策効果もあり、持ち直しに向かうと期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、不動産価格、過剰債務問題を含む金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>	中国では、景気は <u>緩やかに減速している。</u> 先行きについては、 <u>当面は緩やかな減速が続くことが見込まれるが、各種政策効果が次第に発現することが期待される。</u> ただし、通商問題の動向及び影響、 <u>過剰債務問題への対応、金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>
	その他アジア	韓国では、景気は緩やかに回復しているが、 <u>一部に弱い動きもみられる。</u> 台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気は緩やかに回復しているが、一部に弱い動きもみられる。インドでは、景気は回復している。	韓国では、景気は緩やかに回復しているが、 <u>弱い動きもみられる。</u> 台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気は緩やかに回復しているが、一部に弱い動きもみられる。インドでは、景気は回復している。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、 <u>緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、政策に関する不確実性の影響、通商問題の動向が世界経済に与える影響等に留意する必要がある。</u>	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、 <u>回復が緩やかになることが見込まれる。</u> ただし、 <u>通商問題の動向が世界経済に与える影響、政策に関する不確実性の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>
	英国	英国では、景気回復は緩やかになっている。先行きについては、 <u>E U離脱問題に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれる。</u>	英国では、景気回復は緩やかになっている。先行きについては、 <u>E U離脱問題の長期化に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれる。</u>

(注) 下線部は先月から変更した部分。